



11月2日付
申4号

「2021年度冬期の取り組み」に対する申し入れ提出

東日本ユニオン新潟地本は10月11日「2021年度冬期の取組みについて」提案を受けました。昨冬は平野部でも大雪となり、在来線全線で終日運休が続くなど多大な影響を受けました。新潟地本は、これまで新潟支社と積み上げてきた議論と、今冬期の提案について全組合員で検討を行い、冬期輸送を担う社員の負担を軽減しつつ、安全・安定輸送を確保するため申4号として申し入れました。

■ 申4号 申し入れ項目 ■

1. 新潟支社における「冬期の取組み」についての提案及び社員周知は、可能な限り細部にわたり行うこと。
2. 輸送指令の要員体制、冬期設備の使用開始等の冬期体制を12月1日からとすること。
3. 雪害に伴う計画運休等のプレス発表及び全系統への現場周知は速やかに行うこと。
4. 雪害に伴う計画運休は、降雪及び現場の除雪状況を第一優先に考えて判断すること。
5. 乗務員運用におけるタクシー輸送の解消等列車の持ち替えに関する課題を明らかにすること。
6. 暖房予熱について車種別に考え方を明らかにすること。
7. 車掌の誘導による制輪子凍結確認についての考え方を明らかにすること。
8. 羽越本線のトンネル内氷柱対策を明らかにすること。
9. 車両センター構内を除く箇所での車両の屋根上除雪について必要な教育・訓練を実施すること。
10. 駅のホーム除雪について始発確保の体制及び、お客さま・乗務員からの申告を受けてからの除雪体制を明らかにすること。
11. 越後川口駅の飯山本線の除雪を始発列車前に終わらせること。
12. 越後川口駅に除雪要員を常時確保すること。
13. 寺泊駅下り1番線着発対策として越後線156Mは冬期間E129系4両で運用すること。
14. 駅における体制見直しについて(2021年9月提案)を踏まえた吉田駅の除雪体制について明らかにすること。
15. E129系の制輪子凍結に対する車両構造上の課題解決策を明らかにすること。
16. E129系編成に改良された連結器カバーを施工すること。
17. 検修社員による始発列車凍結対応の基準を明らかにすること。
18. E653系窓ガラス破損(トンネル徐行等)を明らかにすること。
19. 酒田運輸区構内タンクローリー出入り口および軽油タンクまでの除雪体制を確立すること。
20. 酒田運輸区社員用駐車スペースの除雪体制を確立すること。
21. 長岡車両センターの女性用休養管理室に電気毛布を配備する等、暖房設備を設置すること。
22. 信越線・上越線の同時カッター代行運転に対応できる冬期要員を配置すること。
23. 架線凍結による駅間停車の未然防止について考え方を明らかにすること。
24. 車両センターでの防寒着・インナー等の貸与に関する考え方を明らかにすること。
25. 磐越西線の沿線危険木への対策及び伐採について考え方を明らかにすること。
26. 五十島駅の線間プールを常時稼働させること。
27. 乗務員のポイント不転換対応について、輸送指令員に対して説明を行うこと。
28. ポイント不転換対応の際、乗務員と輸送指令員の間意思疎通が相互に確認出来る取り扱いを実施すること。
29. 乗務員によるポイント不転換対応の安全確保について保安体制及び保護具の視点で明らかにすること。